

東木ひさよ



おれんじ通信 第21号

「誰一人取り残さない温かな藤沢づくり！」

H29年9月藤沢市議会定例議会の報告です。

「子どもの貧困対策」未来を担う子どもたちが安心して伸び伸びと成長できる地域づくりについて、質問・提案しました。



中学卒業までの小児医療費の無償化が実現！

中学生の小児医療費の無償化について、長年訴え続けてきました。この度、こどもの貧困対策の意味も含め、所得制限はあるものの、中学校3年生まで通院費も含めて無償化が決定！対象者となる中学生は、およそ9,000人。2019年4月より、新制度としてスタートします。

要望・提案



- ①困っている子どもや家庭の早期把握、早期発見の仕組みの明確化と強化
- ②「生活困窮者自立支援制度」を活用の下、子ども支援から世帯全体の課題解決の促進
- ③「ひとり親家庭」支援のさらなる充実
- ④「赤ちゃん訪問」で把握したニーズに対応しての新たなサービスの創出
- ⑤学校の「スクールソーシャルワーカー」の拡充

ひとり親家庭への「ワンパッケージ型のサービス」を！

ひとり親家庭では、経済も子育ても一人で抱え込み余裕なく、孤立している方も多いです。また、保護者の経済的自立のための「高卒認定資格」や「高等職業資格」取得など、国の支援制度は利用率が低い現状です。

そこで、こうした制度の利用拡充を目指して、付随する生活上の家事・育児のサポートも合わせた「ワンパッケージ型のサービス」の創出について提案しました。子どもの世話などの生活支援、ファミリーサポート、トワイライトサービス利用券、勉強する環境、受験料などの費用貸付なども含めた、包括的なサービスを実施するよう、訴えました。



分かりやすい情報発信で、地域共生社会の実現へ。

子供食堂



「バックアップふじさわ」など、本市には充実した総合相談窓口がありながら、よく知られていない課題があります。保護者、子どもと関わる関係者が「市役所に相談に行ってください」と声掛けができるよう、支援制度やサービスについて分かりやすい表現での幅広い情報発信を提案しました。

「地域の縁側」や「子ども食堂」など、居場所づくりに取り組む団体は、増加しています。「藤沢型地域包括ケアシステム」、すべての市民が緩やかに繋がり、居心地の良い、「地域共生社会」の構築を進めます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックは 市民全員が主役です！



オリンピック関連グッズの作成を提案。



「みんなが主役のオリンピック」へ、**カウントダウン「カレンダー」**の作成を提案し、配布予定です。誰もが身近な生活の中で、オリンピックに向け、目標を掲げ、最高の思い出を勝ち取れるように、と願っています。全員が自分色メダリストに！その他、関連グッズを通じ、より豊かな自分づくりが実現するようにデザインの公募も含め、引き続き、推進していきます。

地域の力を結集したボランティア計画を推進。

オリンピックをきっかけに、**まちづくりに参加していただけるボランティアの育成について提案**。「クリーンボランティア」「環境美化ボランティア」、専門性を持った「シニア人材バンク（仮称）」、外国人観光客向けの「小物制作ボランティア」など、多くの市民の自発性の発露で一大ムーブメントを起こしていくよう提案しています。3月には**市民応援団（仮称）**も結成の予定です。

「おもてなし」の心で外国人観光客を誘致。

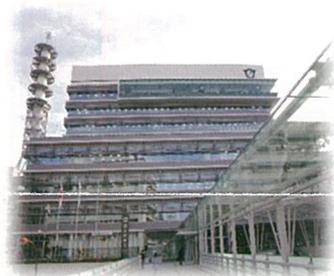
2018年のプレオリンピック、2019年のラグビーWCの開催へ、外国人観光客が「増加するものと予想します。地元の方の笑顔の交流やおもてなしは、ひと際喜ばれると思います。



お寿司や和菓子作りの体験、浴衣を着て遊行の盆、納涼祭の参加など市民協働の取り組みの拡大や、市主催の講座開催について提案しています。



藤沢市本庁舎が完成しました！



12月16日藤沢市役所本庁舎が無事完成。数か所に分散していた、市役所機能が1か所にまとまり、ワンストップサービスが提供できます。5階には屋外庭園でお食事もでき、また、2階には福祉総合相談支援センター、1階には子どもの一時預かり場所、コンビニなど、便利になります！



東木ひさよプロフィール

東木ひさよ Facebook コード



藤沢市議会議員2期、北海道旭川市出身、北海道立旭川東高、明治学院大学卒。
H29年度 子ども文教常任委員会委員長、行政改革特別委員会委員
(H25、26年度厚生環境常任委員会副委員長、H27年度子ども文教常任委員会委員長
H28年度総務常任委員会副委員長を歴任)

連絡先



&



(0466)88-1125



hisayo2011@yahoo.co.jp